

# 平成20年度前期選抜学力検査

数 学 (10時～10時45分, 45分間)

## 問 題 用 紙

### 注 意

1. 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
3. 問題は、**1** から **5** までで、6ページにわたって印刷してあります。
4. 「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。
5. 問題を読むとき、声を出してはいけません。
6. 「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1 あとの各問いに答えなさい。(17点)

$-7 + 2 \times (-3)^2$  を計算しなさい。

$A = 3x - 2y$ ,  $B = -x + 6y$  のとき,  $2A - 3B$  を計算しなさい。

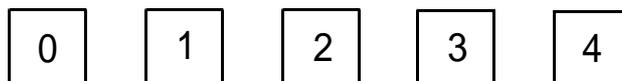
$\sqrt{27} - \frac{12}{\sqrt{3}} - \sqrt{3}$  を計算しなさい。

$x$  についての二次方程式  $x^2 - ax + a = 13$  の1つの解が  $x = -1$  であるとき,  $a$  の値と, もう1つの解を求めなさい。

「自然数  $a$ ,  $b$  で,  $a$  も  $b$  も偶数ならば,  $a + b$  は偶数である。」の逆を, 次の  に適切なことがらを書き入れて完成しなさい。また, それが正しい場合には  を, 正しくない場合には  $\times$  を書きなさい。

「自然数  $a$ ,  $b$  で,  。」

下の図のように, 0 から 4 までの 5 つの数字を 1 つずつ書いた 5 枚のカードがある。これらの 5 枚のカードのうち, 2 枚のカードを並べてできる 2 けたの偶数は全部で何通りあるか, 求めなさい。

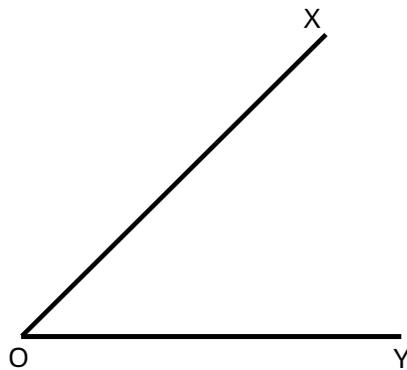


空間における平面や直線について述べた次のア～カのうち、正しいものをすべて選び、その記号を書きなさい。

- ア． 1つの直線に平行な2つの平面は、常に平行である。
- イ． 1つの直線に垂直な2つの平面は、常に平行である。
- ウ． 1つの平面に平行な2つの平面は、常に平行である。
- エ． 1つの平面に垂直な2つの平面は、常に平行である。
- オ． 1つの直線に垂直な2つの直線は、常に平行である。
- カ． 1つの平面に平行な2つの直線は、常に平行である。

下の図で、 $\angle XOY = 45^\circ$ であるとき、 $\angle XOY$ を3等分する2つの半直線を、定規とコンパスを用いて作図しなさい。

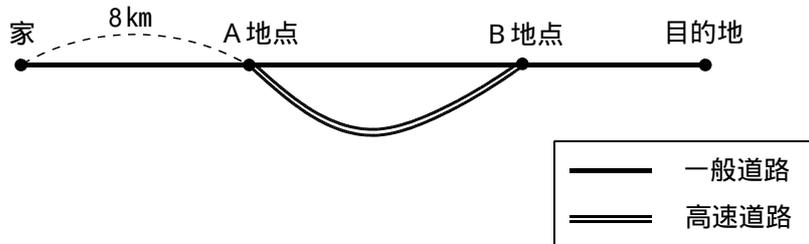
なお、作図に用いた線は消さずに残しておきなさい。



次のページへ

2 下の図に示したように、家から目的地まで自動車で行くのに、一般道路だけを通る予定だったが、家から 8 km離れたA地点からB地点までは高速道路を利用した。すると、目的地までの道のりは予定より 6 km長くなったが、かかった時間は予定より18分短くなった。

自動車が走る速さを、一般道路では時速30km、高速道路では時速80kmとすると、あとの各問いに答えなさい。(6点)



家からA地点まで何分かかったか、求めなさい。

次の{ }は、A地点からB地点まで利用した高速道路の道のりを、連立方程式を使って求める方法を示したものである。□ ~ □ に適切なことがらを書き入れなさい。

A地点からB地点まで利用した高速道路の道のりを  $x$  km, A地点からB地点までの一般道路の道のりを  $y$  kmとすると,

{

□

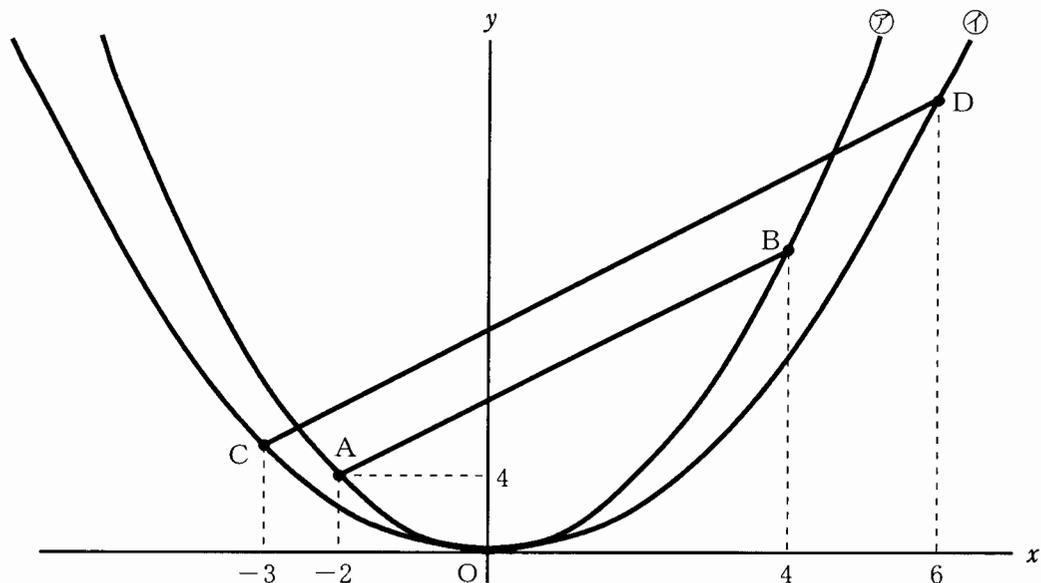
□

これを解くと, □

よって, A地点からB地点まで利用した高速道路の道のりは □

3 下の図は、2つの関数  $y = ax^2 \cdots \textcircled{7}$  と  $y = bx^2 \cdots \textcircled{8}$  のグラフであり、点A、Bは $\textcircled{7}$ のグラフ上に、点C、Dは $\textcircled{8}$ のグラフ上にある。

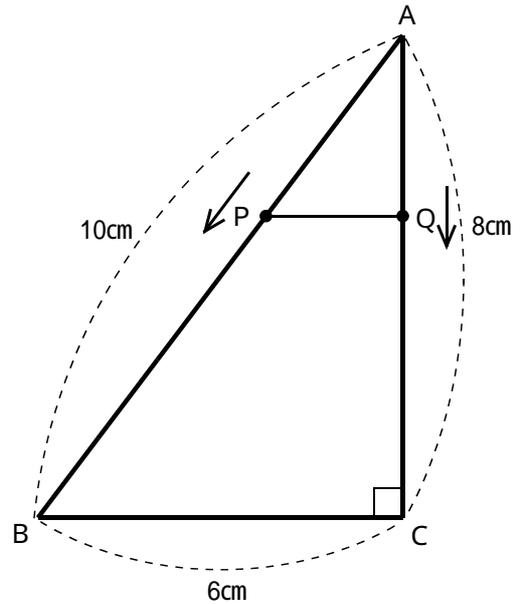
点Aの座標が $(-2, 4)$ 、点B、C、Dの $x$ 座標がそれぞれ4、 $-3$ 、6で、 $AB \parallel CD$ であるとき、あとの各問いに答えなさい。(8点)



- (1)  $a$  の値を求めなさい。
- (2) 直線  $AB$  の式を求めなさい。
- (3)  $b$  の値を求めなさい。
- (4)  $\textcircled{8}$  のグラフ上に点  $P$ 、 $Q$  をとり、四角形  $APQB$  が平行四辺形になるようにする。  
点  $P$  の  $x$  座標を  $t$  とするとき、 $t$  の値を求めなさい。  
ただし、点  $P$  の  $x$  座標は点  $Q$  の  $x$  座標より小さいものとする。

次のページへ→

4 右の図のように、 $AB = 10\text{cm}$ 、 $BC = 6\text{cm}$ 、 $CA = 8\text{cm}$ の直角三角形 $ABC$ がある。点 $P$ は、 $A$ から出発して、毎秒 $1\text{cm}$ の速さで辺 $AB$ 、辺 $BC$ 上を $C$ まで動く。また、点 $Q$ は、点 $P$ が辺 $AB$ 上を動くときは、 $PQ \parallel BC$ となるように辺 $AC$ 上を $A$ から $C$ まで動き、点 $P$ が辺 $BC$ 上を動くときは、 $C$ に止まっている。



点 $P$ が $A$ を出発してから $x$ 秒後の $APQ$ の面積を $y\text{cm}^2$ とすると、あとの各問いに答えなさい。(9点)

0  $x < 10$ のとき、 $x$ 秒後の $AQ$ の長さを $x$ を用いて表しなさい。

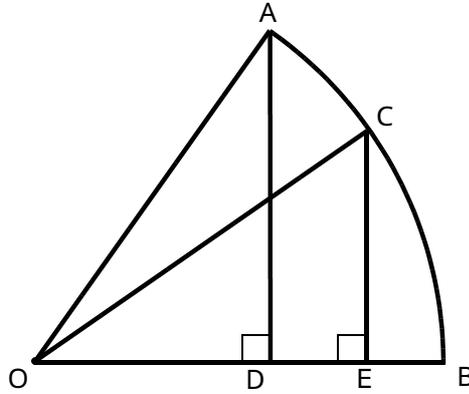
0  $x < 10$ のとき、 $x$ 、 $y$ の関係を式に表しなさい。

10  $x < 16$ のとき、 $x$ 、 $y$ の関係を式に表しなさい。

$APQ$ の面積が $18\text{cm}^2$ になるのは点 $P$ が $A$ を出発してから何秒後か、すべて求めなさい。  
 なお、答えに $\sqrt{\quad}$ がふくまれるときは、 $\sqrt{\quad}$ の中をできるだけ簡単な数にしなさい。

- 5 下の図のように， $OA$ を半径とするおうぎ形の弧 $AB$ 上に点 $C$ をとり，点 $A, C$ から半径 $OB$ に垂線をひき，交点をそれぞれ $D, E$ とする。

$\angle OAD + \angle OCE = 90^\circ$ であるとき，あとの各問いに答えなさい。(10点)



$AD = OE$ であることを証明しなさい。

$\angle OAD = a$ とするとき， $\angle AOC$ の大きさを $a$ を使って表しなさい。

$OA = 6\text{ cm}$ ， $\angle OAD = 35^\circ$ のとき，線分 $AD, DE, CE$ と弧 $AC$ で囲まれた部分の面積を求めなさい。

ただし，円周率は $\pi$ とする。

- おわり -